

# スタートアップ紹介

## AI for Good Global Summit より

2020年6月29日  
一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC)  
金子 麻衣

## 6/5 : AI for Good Innovation Factory : Live Pitching Session

内容 : AIを活用して世界的課題を解決しようとするベンチャー・新興企業家の紹介

### メンター :

- MerantixLABS (大手AIソリューションプロバイダ) 創設者兼最高経営責任者
- Bamboo Capital Partners パートナー・ネットワーク開発担当
- IBM スタートアッププログラムマネージャー
- GSMA(移動通信系業界団体) モバイル開発責任者
- Hatch CoLab (ベンチャー支援)

### スタートアップ :

- [LUCINITY](#)
- [PinkLion](#)
- [JusticeBot](#)
- [AgShift](#)
- [CHATT & PRAXISCONCIERGE](#)

- AIを活用した**マネーロンダリング・金融犯罪対策「HUMAN AI」**
- 顧客データを共有することなくマネーロンダリングに対する顧客の防御を総合的に向上させる**統合学習アプローチを開発 (特許出願中)**
- **フィンテックと21の銀行から生まれたスタートアップ (CEO・技術責任者等銀行・規制当局関係者)**

### (背景・課題)

- 毎年**2兆ドル**を超える資金が、テロ資金調達、人身売買、麻薬密売などの**闇市場活動から発生する資金で洗浄**されている
- **摘発率は1%以下**

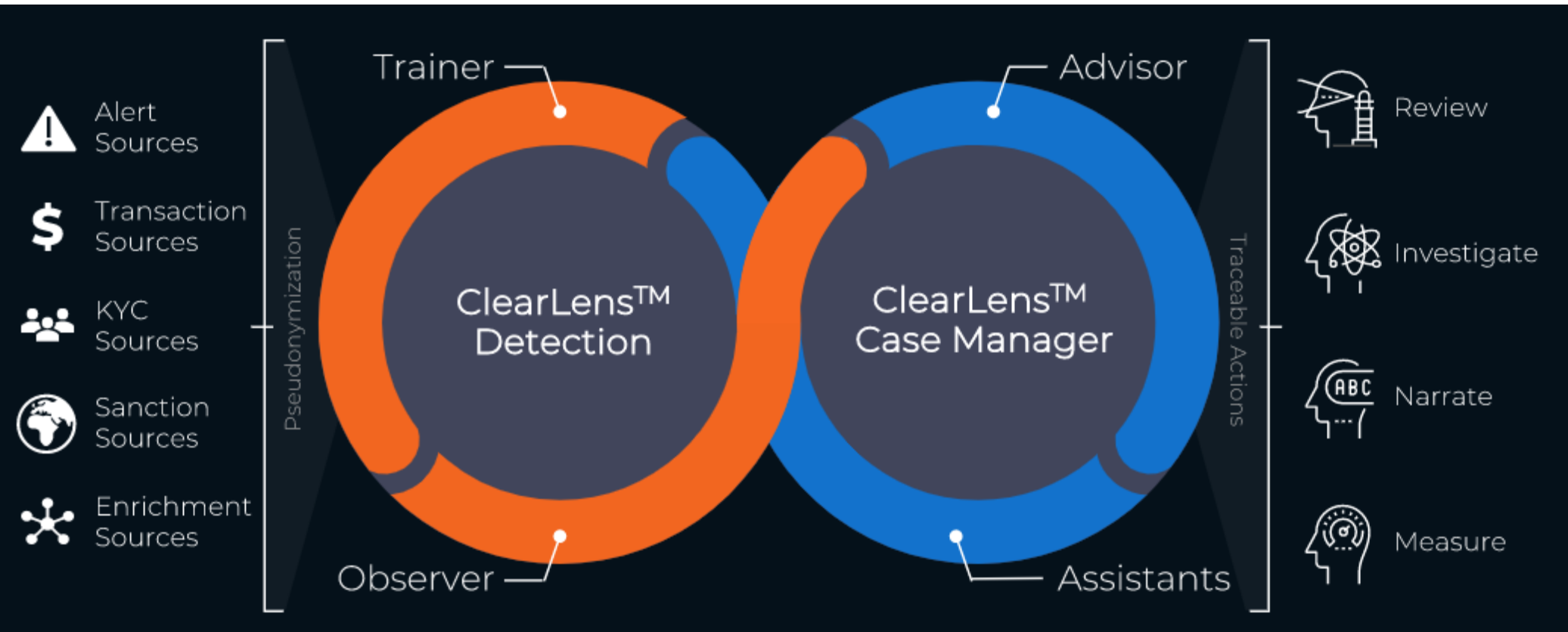
### (狙い)

- **SDGs 5, 8, 16**に対応
- **エコシステム全体で学習を行い、顧客から多くの犯罪を排除する**

### (実績)

- **indo (アイスランドの銀行)**
- **Crowberry Capitalが200万ドル調達**

- 複雑なマネーロンダリングのネットワーク、不審な行動パターンを見つけることができるAIアルゴリズム、深層TensorFlow(学習のニューラルネットワーク、グラフニューラルネットを利用、Googleのオープンソース)がベース
- 顧客データは疑似匿名化してやりとり (特許出願中)
- データに簡単に接続できるようにするAPIインターフェースが強み



- AIファーストでクライアントのアプリケーションを開発
- ビジョン：クライアント企業の技術的課題を解決
- 最先端のAI技術を使った15歳未満を対象としたユースハッカソンを主催
- AIの安全なApp Storeを提供し、企業に選んでもらう仕組みを構築

### (狙い)

- AppStoreでは、社会に影響を与える信頼されるソフトウェアかどうか評価する

### (実績)

- ディズニー、オラクル、マイクロソフト、デル、S&P global（米金融サービス企業）、Google、TARGET（米ディスカウントストアチェーン）、RIOT Games（米ゲーム会社）
- 病気等で長期入院を余儀なくされている子供達に技術的な解決策を提供



PinkLion.AI

### (ビジネスモデル)

PinkLionのダッシュボードを介して管理され、年間サブスクリプションを介して支払われます。

- 24時間365日無料で弁護士とつなげるAI搭載のチャットボット
- 法的手続きや情報を無料で提供、相談料も安く設定
- ビジョン：2045年までに6,000万人の人々を救い、アフリカ全土の弁護士6,000人に雇用機会を提供

### (背景・課題)

- 法的な問題に直面しているウガンダ人やコンゴ人は、簡素化された法的情報やアドバイスにアクセスできない

### (強み)

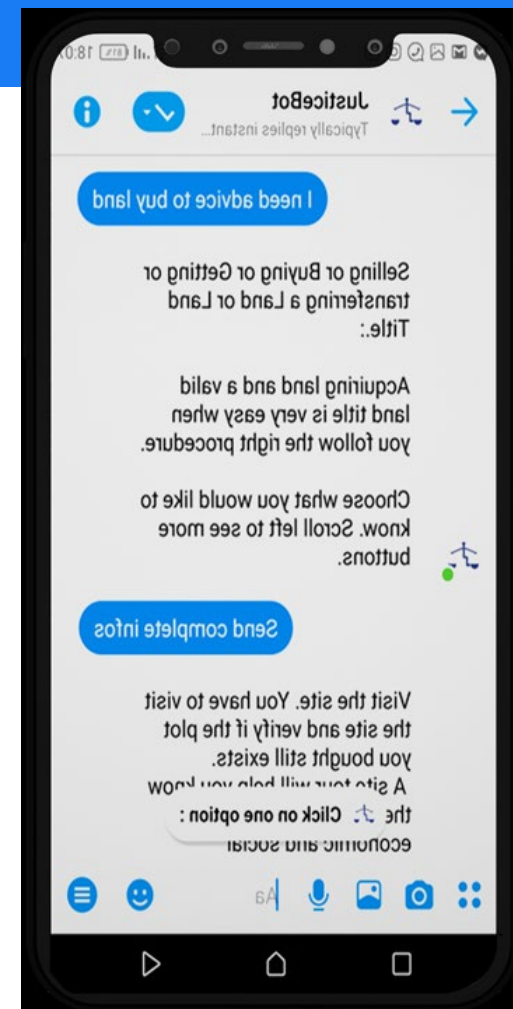
- 24時間365日対応
- 優れたユーザインタフェース
- プロボノ対応
- 弁護士への職の斡旋

### (実績)

- 33,000人が登録
- 76,000ケースを解決
- 収入73,000ドル/年
- ウガンダ国内導入済み

### (ビジネスモデル)

- 手数料：弁護士の相談料から10%
- 裁判手数料
- 広告料



- AIを活用した**食品品質分析プラットフォーム「Hydra」** (特許取得済)
- 最高のIoT、コンピュータ、機械学習を使用した食品品質検査の再定義
- 品質管理が必要な**全てのサプライチェーンに適用可能**

### (背景・課題)

- **品質検査のプロセスは手作業が100%**
- 出荷1回当たり最低4回検査される
- 検査する従業員の訓練も大変
- 人手は主観的な解釈が入りミスも多い
- **検査サンプル数を減らす生産者**もいる
- 検査項目は、状態・大きさ・形・重さ・色・堅さ等多岐にわたる

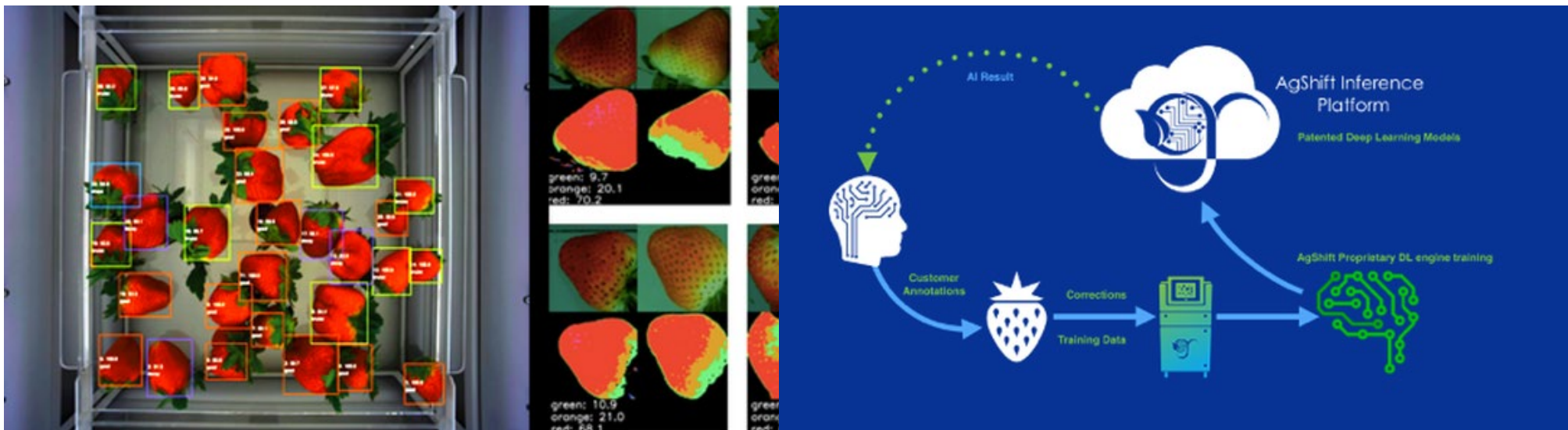
### (強み)

- 監査証跡を使用して、より優れ、高速で客観的な品質評価-運用コストを4分の1に削減
- **品質評価のデータセットを多数持つ唯一の企業** (数百の生鮮食品)
- 通常のサンプル調査の10倍以上数を増やして検査が可能
- SDGs2, 3, 9, 13に対応

### (実績)

- ベトナムなどの処理施設に導入
- カリフォルニア大手処理施設 (カシューナッツ)

- クラウド対応ディープラーニングプラットフォームHydra AI（特許取得）
- 堅牢なソフトウェアバックエンドが高度に保護された環境で品質検査データを保管
- サンプルをリアルタイムで分析する深層学習モデルとアルゴリズムで、特定のサンプルの品質評価とグレーディングを欠陥レベルごとに実行





- **ヘルスケアに特化した自動電話ボットサービス「ホームナース」**
- 一部の機能は「**コロナモニタリング**」として**COVID-19対応**でも活用、患者への定期的な自動呼び出し、症状の報告、状態の追跡など実施
- 会話の中からポイントとなる言葉を自動的に記録
- 2020年4月のEUvsVirusハッカソンの勝者

## (背景・課題)

- 国によって看護師一人当たりの患者の人数は様々
- 医療従事者不足に加え、高齢化と慢性疾患が医療現場を悪化させている

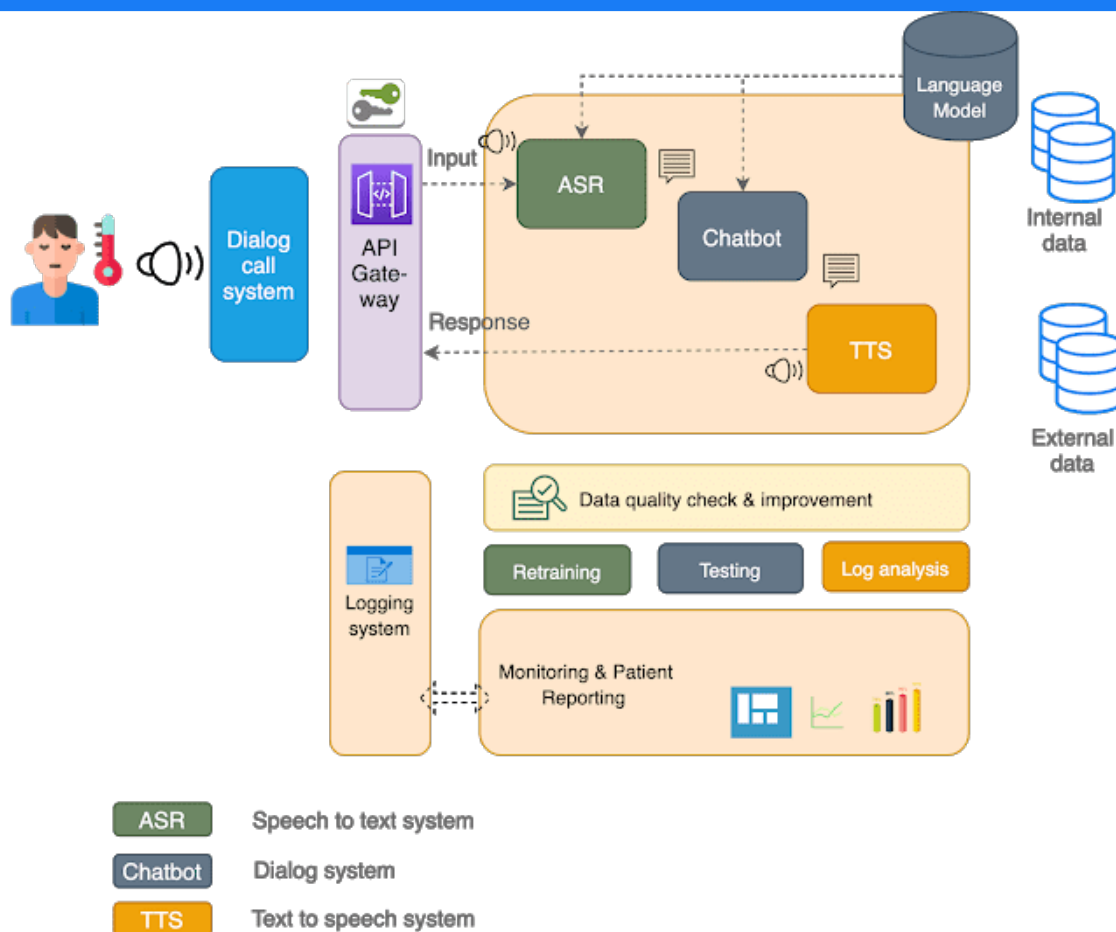
## (スケジュール)

- 7月にパイロット製品完了
- 8月モニタリング&評価
- 9月展開

## (強み)

- **最先端の音声言語テクノロジー**
- 金融業界でのボット開発、クリニックでの電話対応サービスの使用例から開発
- プライマリーケアのアクセスが悪い地域に展開することができる
- SDGs 3, 9, 17に対応
- 収集されたデータは、健康リスクの早期発見に役立てることができる
- 欧州委員会も協力

- 3つの主要コンポーネント (1) 患者が話している内容をテキストに転記する音声合成システム (ASR)、 (2) 指定されたテキストの意味を理解するチャットボットシステム、記録患者のデータベースに送信し、テキスト形式で応答を返す (3) チャットボットの出力テキストの自然な発音を生成し、電話回線で患者に返信するテキスト読み上げシステム (TTS)。



# 問い合わせ先

本資料を作成するにあたり、不足している情報を調べ、個々に補完している（情報元は個別に記載）。スライド内に出典の記載がないものはAI for Good Global Summitからの引用である。

本日紹介した内容や、サミットのプログラムについて興味のある方は問い合わせいただきたい。

## ■ 問い合わせ先

TTC企画担当 金子 kaneko@s.ttc.or.jp



## ■ AI for Good Global Summit関連

- 2020年度のProgramme（更新中）

<https://aiforgood.itu.int/programme-2020/>

- スタートアップ募集中（～6/30）！

<https://aiforgood.itu.int/start-up-and-ideas-application-form/>

- Webinar企画募集

<https://aiforgood.itu.int/webinar-proposal/>

# (参考) AI for Good Global Summitとは

- 国際連合のAIプラットフォームで毎年5月にジュネーブで開催するイベント、今年は12月までデジタルプログラムに移行
- COVID-19対策などグローバルな課題に関するAIの最新の開発や有望なユースケースを共有

開催概要	3/27～毎週1or2回 3～4月 COVID-19対策 5月～ スタートアップ紹介など幅広い分野に拡大
開催方法	Zoom
主催	ITU XPRIZE※
内容	60分～90分程度/回 モデレータ+講演者によるパネルディスカッション
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>• Zoomチャット機能を使って質問を受付</li><li>• 当日のセミナー動画が後日公開（一部除き）</li><li>• セミナーによっては資料も共有</li></ul>

※ 世界中のイノベーターを支援する非営利団体の財団、賞金レースを運営

# 過去エピソード（COVID-19関連）

## 3/27 : COVID-19 : 韓国における感染者数曲線平坦化のためのICTとAIの活用事例

講演者 :

- 韓国厚生省健康福祉部疾病予防管理センター（KCDC）リスク評価部門のディレクター
- 成均館大学校（ソウルの私立大学）のインタラクシオンサイエンス学部教授

## 4/3 : COVID-19 : プライバシーを尊重しながら、携帯電話とAIで接触者追跡

講演者 :

- テクノロジ新興企業Dualityの共同創設者兼CTO
- FG-AI4H議長、ベルリン工科大学教授、フラウンホーファーハインリッヒヘルツ研究所の事務局長

## 4/9 : COVID-19:世界的大流行に対する中国のデジタル保健戦略

講演者 :

- 政府の情報通信分野主管庁MIITの直属組織、中国情報通信研究員（CAICT）のスマートヘルス部門の技術者
- 中国電信（チャイナテレコム）のマシンビジョンの研究開発・標準化担当のディレクター

## 4/17 : COVID-19 : 誤情報(misinformation)と偽情報(disinformation)に対して何をすべきか（動画未公開）

講演者 :

- 410LabsのCEO（ユーザインタフェースの開発、メッセージを効率的に整理するメーラー等を開発）
- Bodacea Light Industries（情報セキュリティ関連企業）の創設者
- Stanford Internet Observatoryの技術マネージャ（SNS上の悪意ある情報の広がりを調査）
- EEAS（EUの関係機関）のメンバー（欧州委員会等と連携し外交・安全保障対策を実施）

## 4/24 : COVID-19 : 自動運転車はどこにありますか？モビリティの未来について

講演者 :

- Roborace（AI自動運転マシンによるモータースポーツ）とADA（Roboraceを推進する非営利団体）の創設者
- 世界経済フォーラム 自動車・自動車関連事業本部長
- デューク大学電気情報工学科教授



## 5/15 : AI for Good Innovation Factory : Live Pitching Session#01

内容 : AIを活用して世界的課題を解決しようとするベンチャー・新興企業家の紹介

メンター :

- IBM Cloud Hyper Protect Accelerator
- 国連プロジェクトサービス事務所
- 世界経済フォーラム エコシステムエキスパート
- ACM (国際コンピュータ学会) 共同議長
- IBM ワトソン 開発リーダー

スタートアップ :

- GREYPARROT
- IVOW
- 1DOC3
- EQ4ALL
- CHILD GROWTH MONITOR (welt hunger hilfe : ドイツ非営利の飢餓援助機構)

## 5/20 : AI for Good Innovation Factory Episode#01

COVID-19 : クラウドソーシングとAIを組み合わせてパンデミックに取り組む

- 大規模ハッカソンのようなオンラインのクラウドソーシングによるイベントが、世界的な封鎖下で急増中。
- AIとクラウドソーシングを組み合わせて大量の文学作品から重要な情報を抽出したり、SNSを分析して重要なトレンドを見つけるプロジェクトが誕生

モデレーター :

- Geneva Tsinghua Initiative ジュネーヴ精華イニシアチブ (ジュネーブ大学と精華大学のSDGs達成に向けた教育プログラム) 事務局長

パネリスト :

- バルセロナ大学教授 AI関連研究者
- ミラノ工科大学教授 コンピュータ工学
- 欧州イノベーション会議 (European Innovation Council-Innovation Ecosystems Unit) 副本部長
- AIcrowd (AIを活用して課題を解決するプラットフォーム運営) CEO兼共同設立者